

【担当教員名】 今井信行	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

摂食・嚥下障害について、関連器官の解剖学的形態、運動様式を把握し、機能障害の発症原因を理解するとともに、検査・評価方法、診断治療・訓練方法について学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

- 1、摂食器官の構造と各器官の運動様式を理解する
- 2、嚥下器官の構造と各器官の運動様式を理解する
- 3、食物の認知機構を理解する
- 4、咀嚼運動、嚥下運動に関して各関連器官の協調運動を理解する
- 5、摂食・嚥下障害の発症原因と、発現する機能障害を理解する
- 6、摂食・嚥下障害の検査・機能評価方法と診断方法を理解する
- 7、摂食・嚥下障害の治療・訓練方法を理解する

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	摂食・嚥下に関連する器官の形態、感覚、運動		講義
2	口腔内の食物認知と咀嚼運動の制御機構		講義
3	嚥下運動の制御機構		講義
4	摂食・嚥下障害の発症原因と機能障害の分類		講義
5	摂食・嚥下障害の検査・診断		講義
6,7	摂食・嚥下障害の治療・訓練		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	よくわかる摂食・嚥下のメカニズム	山田好秋	医歯薬出版	2004年・3990円
参考書	脳卒中患者の口腔ケア	植田耕一郎	医師薬出版	1999年・4935円
その他の資料				

【評価方法】 記述試験	【履修上の留意点】
----------------	-----------